協議を深める7つの手立て

～円滑な学校運営協議会をめざして～

共通

① 地域の子どもを中心にした話合いであること。
② 夢のある前向きな話合い（未来志向的）であること。
③ 学校・家庭・地域としての一歩につながること。

（宮崎市CS）

第1の手立て

ミーティング

会長（進行）と協議内容について、事前に打合せを行いましょう。

第2の手立て

フォーカス

当日の協議内容を絞り込み（焦点化する）ましょう。

第3の手立て

話しやすい雰囲気づくり

「みんなで」・「楽しく」・「一部の委員に偏らない」話合いにしましょう。

第4の手立て

わかりやすさ

独自の教育用語は避け、地域の方もわかる発言をしましょう。ユーモア大歓迎！

第5の手立て

襟を開いてみる

学校の情報は、校長として必要な場合は委員を信頼して伝えましょう。

第6の手立て

対話を促す ひと工夫

場に応じて形態（小グループ・目的別等）の工夫や多様な参加者を加えては。

第7の手立て

見える化

協議した内容を整理し、学校HP・通信、保護者会、職員会等で発信しましょう。

学校運営の改善 ／ 地域とともにある学校づくり ／ 学校を核とした地域づくり

1

①学校運営の目標共有と基本方針の承認
②教育活動に関する意見の申し出
③学校関係者評価との一体的運用

学校運営への参画

2

①特色を生かした教育活動への支援
②地域学校協働本部や関係団体との連携・協働
③学校と地域のコーディネート機能

学校運営への必要な支援

3

①学校に関する地域課題の共有
②地域素材や人から学ぶキャリア教育
③地域活動へ参加参画できる環境や機会づくり

地域貢献への環境づくり